

インプラント治療の主なリスクと副作用

- ・ インプラント治療は、入れ歯・ブリッジ治療と異なり保険外診療になります。
- ・ 骨の成長中のお子さんは適応外になります。
- ・ 痛み止めや抗生物質等を使用するため、妊娠中の方・妊娠の可能性のある方はインプラント治療を控えてください。
- ・ 心臓の疾患、骨粗鬆症など罹患されている方は、インプラント治療に適さない場合があります。また、血液をサラサラにするお薬を服用されている場合は事前に申告するようにしてください。
- ・ インプラント治療は、外科手術が必要になります。
- ・ 歯周病の発生リスクの高い方。糖尿病を罹患されている方や喫煙者、口腔内の衛生状態の悪い方は、事前に生活習慣の改善が必要になります。
- ・ インプラント治療は、顎の骨に穴をあけて人口の歯根を埋め込みます。インプラント体が安定するまでに約2カ月～6カ月の治療期間を要します。骨が不足している場合、骨を増やす処置が必要になります。その場合治療期間が更にかかる場合があります。
- ・ インプラント手術の際に神経に近すぎてしまったり、触れてしまうなどの影響により神経の損傷（知覚異常や鈍麻）を起こす場合があります。インプラントによる神経の圧迫や損傷・切断がある場合は、基本的にインプラントを撤去します。ただし状況によっては経過をみる場合や、内服薬で治療を行う場合もあります。
- ・ 上あごの奥歯にインプラント治療する場合、上顎洞に骨を増やす処置が必要なことがあります。その際に感染が生じると蓄膿症になる場合があります。この場合、インプラントを撤去することがあります。また耳鼻咽喉科等と連携が必要になる場合があります。
- ・ インプラント手術の直後は、違和感・痛み・腫れ・出血などが発生する場合がありますが、大半は数日でおさまります。
- ・ インプラント治療後は、定期的にメンテナンスを継続する必要があります。口腔内の衛生状態が悪いと、インプラント周囲炎という病気になりインプラントの撤去が必要になる可能性があります。